共創ラボ

横浜市の政策課題に公民連携でチャレンジ！

FUJITSU

SDGs×横浜×IMDJ×テクノロジー

データジャケットを使って新しいチャンスを探索する

■共創ラボ　概要

横浜市は公民連携によるオープンイノベーションによって市民一人、ひとりの生活に根ざしながら、持続可能な未来に向けて挑戦をし続けています。この共創ラボのプログラムは、その一環として、富士通エフサスと東京大学大学院工学系研究科大澤研究室、横浜市政策局が協働で企画し実施するものです。

未来都市・横浜は超高齢・人口減少社会の克服や気候変動への対応など、様々な課題を抱えています。今回は具体的なテーマとして "横浜の農業" を設定し、サーキュラーエコノミーplus（注１）という視点から新たなソリューション（ビジネスモデル）を構築することを目的に全３回シリーズでお届けします。

第1回　1月22日（水）14:00～17:00

横浜の農業の現状と課題認識

"横浜の農業"の実状と具体的な課題について、横浜市環境創造局農業振興課より情報提供いただきます。

また遊休農地を活用した横浜オリーブの普及、海の公園に打ち上がる大量の アオサの利活用に取り組む地域の事業者や団体をお招きし、現場で苦労されているからこそお伝えできるリアルなお話を会場で共有いただきます。

「横浜オリーブ」

第2回　2月13日（木）13:00～16:00

アイデア創出のためのワークショップ

「オリーブの普及」や「アオサの利活用」を素材に、横浜の農業を活性化するための新たなソリューションの構築に向けてアイデアを創出するためのワークショップを、SDGs×データジャケット×テクノロジー×公民連携の視点で行います。

「横浜の地域課題解決ダイアログ」

第3回　3月13日（金）14:00～17:00

現実的なビジネスモデル化に向けた検討

第2回で提案されたアイデアをどのようにブラシアップすれば持続可能なビジネスソリューションにすることができるか、そのためには何が必要かを、マーケットニーズや横浜市の政策方針を踏まえ検討します。

「データジャケット：KeyGraphを用いて可視化」

お申し込みサイト　共創ラボ　SDGs×横浜× IMDJ×テクノロジー

申込期限：開催日の前日まで　※下記Peatixよりお申し込みください

第１回「横浜の農業の現状と課題認識」 https://peatix.com/event/1407964

第２回「アイデア創出のためのワークショップ」 https://peatix.com/event/1407969

第３回「現実的なビジネスモデル化 に向けた検討」 https://peatix.com/event/1407970

※ご本人確認のため、当日受付時に名刺をお渡しください。

会場案内

みなとみらいInnovation & Future Center
（みなとみらいIFC）

電話: 045-222-4309　（SDGs担当）
住所: 横浜市西区みなとみらい2-3-3
　　クイーンズタワーB棟9階
アクセス:
JR京浜東北線・根岸線 桜木町駅 徒歩15分
みなとみらい線 みなとみらい駅 徒歩5分

お問合せ：proj-minatomirai-ifc@ml.fsas.fujitsu.com

注１サーキュラーエコノミーplusとは

「サーキュラー・エコノミー（循環経済、CE）」は、従来廃棄されていた製品、活用されていなかったものを「資源」と捉え、有効に活用し、またその寿命の延伸を図ることで、それらの価値を目減りさせずに永続的に再生・再利用し続けることで環境にも経済にも持続可能性を持たせる新しい経済活動です。「デジテクによって無駄を富に変える儲かるエコ」とも呼ばれ、EUではSDG s の浸透と共に、CEの考え方に基づく経済・社会活動が急速に発展しています。
これに対して横浜では、市内各地のリビングラボが中心となって、資源や製品に限らず、「ひと」と「まち」の持続可能性とエンパワーメントにも着目し、それらを総合的にプロモーションする社会経済モデルを「サーキュラー・エコノミーplus」として提唱し、公民連携で「誰一人として取り残さない持続可能な未来」を目ざす活動が始まっています。

※関連サイト
一般社団法人YOKOHAMA リビングラボサポートオフィス
https://livinglabsupportoffice.yokohama/

お問い合わせ先
株式会社富士通エフサス
〒220-6109　神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3　クインズタワーB棟9階
お問い合わせ 045-222-4309　www.fujitsu.com/jp/fsas/

Copyright 2019 FUJITSU FSAS INC.